

おおぬま・ひろみ/NHKシニアアナウンサー。仙台市生まれ、小中高校と秋田で過ごす。1988年東北大文学部卒、同年日本放送協会入局。初任地は秋田放送局。

現在、(一財)NHK放送研修センターに勤務。「ラジオ深夜便」アンカー(ラジオ第1で午後11時15分～、第1・3月曜担当)等で活躍中。番組ホームページは <http://www4.nhk.or.jp/shinyabin/> (なお、「ラジオ深夜便」は午前1時からラジオ第1とFMで同時放送)



## 話す楽しみ 聞く楽しみ

NHK放送研修センター シニアアナウンサー

大沼 ひろみ (昭和58卒)

ふるさと秋田で社会人としての一歩を踏み出して、もう30年。初任地ということもあって、母校の秋田高校にはずいぶんとお世話になりました。

センバツ甲子園の学校紹介の取材で訪ねたのが、新校舎に入った最初だったような気がします。自分たちが通ったコンクリート打ちっぱなしの(今思えばおしゃれだった?)ペランダが通路でA組の後ろのドアを開けるとB組に入っちゃおう、という不思議なつくりの校舎に慣れ親しんだ身には、まぶしい(実際、本当

に光がふんだんに入るつくり)木のぬくもりいっぱい教室でした。

新しい雨天練習場では投球練習を間近で見せてもらい、スピードにびっくりしつつ『軟野にもこんないい施設があったらなあ(軟式野球部のマネージャーだったもので)なんて思ったり。職員室に顔を出せば、まだ高校の時にお世話になった先生がいる、そんな新人の頃でした。

月日は流れ、今は放送研修センターに勤務しています。4月になると、営業、技術、記者、編成、ディレクター、総務、事業……と新人たちで教



朗読勉強会の1コマ(福井放送局キャスターと)

務、事業……と新人たちで教室はいっぱいになり、会議室や控室などもやりくりする状態。建物が初々しさであふれかえるようです。全国各地それぞれの赴任地に旅立った後は、研修担当一同しばらく「ロス」状態。

お近くの局に新人が参りましたら、どうぞよろしくお願ひいたします。もちろん、他にもいろいろな研修や講座があります。先日私が講師を務めた朗読勉強会では東海・北陸のアナウンサーやキャスターが地元ゆかりの文学を読みました。3年前まで勤務していた福井の懐かしいなまりも物語のセリフ

で久しぶりに聞きました。

参加者の服装も声の響きも国際色豊かな外国の放送局の研修、お国言葉のレポートが並ぶケーブルテレビの研修、専門用語が飛び交う企業や自治体のプレゼンテーション講座。ちよつと緊張気味の自己PRが聞こえてきたら「就活応援! 大学生セミナー」……ことばって本当に豊かだな、と受講者の方から教えられる毎日です。

さて、放送では最近「ラジオ深夜便」で母校(秋田中学)の先輩、東海林太郎特集をやりました。ふるさととのご縁もいつまでも続くものだなあと感じたひと時でした。



緑豊かな職場(東京都世田谷区砩)